

令和 6 年度( 2024 年) 年間授業計画表

学年	2	コース	全コース	選択形態	必須	科目	体育	単位	2		
学習目標	主体的に学びに向かう態度の育成のなかで、自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を生涯にわたって楽しむための関わり方を見つけるために、ルールや技能を学び、生涯にわたる豊かなスポーツライフの基礎の育成を図る。										
使用教科書		副教材				予定時間数	70	実施時間数			
単元と内容											
1学期	スポーツテスト	スポーツテスト各種目									
	バスケットボール	ドリブル・パス・シュート・各技能を活かしたゲーム									
	バドミントン	ハイクリアー・スマッシュ・技能を活かしたゲーム									
	卓球	サーブ・ドライブ・カット・技能を活かしたゲーム									
	バレーボール	オーバーハンドパス・アンダーハンドパス・チーム内での役割・各技能を活かしたゲーム									
2学期	サッカー	ドリブル・各種パス・シュート・技能を活かしたゲーム									
	テニス	サーブ・レシーブ・スマッシュ・技能を活かしたゲーム									
	バスケットボール	ドリブル・パス・シュート・各技能を活かしたゲーム									
	バレーボール	オーバーハンドパス・アンダーハンドパス・チーム内での役割・各技能を活かしたゲーム									
	マラソン	基礎体力の向上									
3学期	バスケットボール	ドリブル・パス・シュート・各技能を活かしたゲーム									
	バドミントン	ハイクリアー・スマッシュ・技能を活かしたゲーム									
	ダンス	創作ダンス・振付・発表									
	卓球	サーブ・ドライブ・カット・技能を活かしたゲーム									
	バレーボール	オーバーハンドパス・アンダーハンドパス・チーム内での役割・各技能を活かしたゲーム									
評価											
評価の観点		評価の趣旨				評価対象					
						1学期末	2学期末	学年末			
①	知識・技能	【知識】 ・各技能の名前や用途を理解し、説明することができる。 ・ルールを理解し、試合進行をすることができる。 【技能】 各技能を試合で使用できる程度に使用することができる。				○	○	○			
②	思考力・判断力・表現力	・自己の現状を踏まえ、技能が上達するために必要な練習ができている。 ・体力や技能の程度、チーム状況を考慮し、各々の役割を提案している。 ・各種目の学習成果を踏まえ、自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を生涯にわたって楽しむための関わり方を見つけている。				○	○	○			
③	主体的に学びに向かう態度	・各種目の学習に主体的に取り組もうとしている。 ・危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保している。 ・約束事を確認し、集団の規律を守るよう努力している。				○	○	○			
評価方法例	①		②			③					
	口頭試問	10%	授業の取り組み			80%	出席				50%
	実技試験	70%	実技試験			20%	体育用具準備				20%
	授業の取り組み		20%				授業の取り組み				30%

令和 6 年度( 2024 年度) 年間授業計画表

学年	2	コース	全コース	選択形態	必須	科目	保健	単位	1
学習目標	生涯にわたって健康課題解決に役立つ健康情報を選択したり、健康に関する課題を適切に解決したりするために、各分野で基礎知識を学び、情報選択や課題解決に主体的、協動的に取り組む態度の育成を図る。								
使用教科書	現代高等保健体育（大修館書店）	副教材				予定時間数	35	実施時間数	
単元と内容									
1学期	③生涯を通じる健康		ライフステージと健康						
			思春期と健康						
			性意識と性行動の選択						
			妊娠・出産と健康						
			避妊法と人工妊娠中絶						
			結婚生活と健康						
			中高年期と健康						
2学期	③生涯を通じる健康		労働災害と健康						
			健康的な職業生活						
	④健康を支える環境づくり		大気汚染と健康						
			水質汚濁、土壌汚染と健康						
			環境と健康にかかわる対策						
			ごみの処理と上下水道の整備						
			食品の安全性						
3学期	④健康を支える環境づくり		保健サービスとその活用						
			医療サービスとその活用						
			医薬品の制度とその活用						
			さまざまな保健活動や社会的対策						
			健康に関する環境づくりと社会参加						
評価									
評価の観点			評価の趣旨			評価対象			
						1学期末	2学期末	学年末	
①	知識・技能		各単元において、学びの内容を理解することができている。			○	○	○	
②	思考力・判断力・表現力		③生涯を通じる健康について、労働と健康との関係や働く人々の健康が保持増進されるしくみを、年代別や自身の将来を考えながら表現することができる。 ④健康を支える環境づくりについて、環境・食品と健康との関係や健康を高めるための方法などを表現することができる。			○	○	○	
③	主体的に学びに向かう態度		③生涯を通じる健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。 ④健康を支える環境づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。			○	○	○	
評価方法例	①		②			③			
	定期考査 100 %		ノート・レポート・課題 50%			グループ学習 30%			
			各種発表・まとめ 50%			授業の取り組み 70%			